

ファンド概況	
基準価額・純資産総額	
基準価額	5,891円
純資産総額	9億円

税引前分配金実績（一万口あたり）			
第23期	2017年8月	0円	
第24期	2018年2月	0円	
第25期	2018年8月	0円	
第26期	2019年2月	0円	
第27期	2019年8月	0円	
設定来累計		3,600円	

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<決算日>

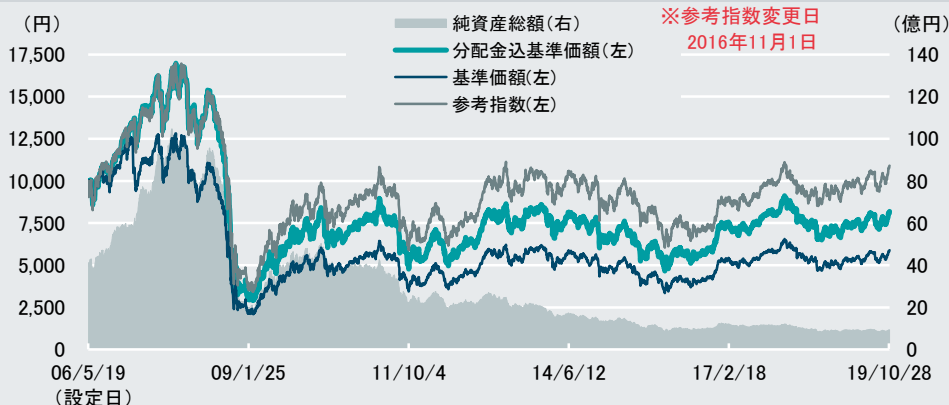
毎年2回、原則として2月18日及び8月18日とします。
ただし、当該日が休業日の場合は、翌営業日を決算日とします。

基準価額変動の要因分解	
対象期間：2019年10月1日～2019年10月31日	
基準価額の変動金額	348円
株式部分	242円
為替部分	117円
分配金	0円
信託報酬等その他部分	-11円

※金額は、対象期間における基準価額の変動を表したものです（円未満を四捨五入）。

運用実績

設定来の基準価額の推移



※分配金込基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。ただし、設定来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

※基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を表示しております。

※参考指数は、設定日を10,000として指数化して表示しております。参考指数は、2016年11月1日より、MSCI EMヨーロッパ10/40(税引後配当込み 円換算ベース)から、MSCI EMヨーロッパ10/40(除くギリシャ)(税引後配当込み 円換算ベース)に変更しました。2016年10月31日の旧参考指数の指数値を基準として、2016年11月1日から新参考指数の日次騰落率を乗じて計算しています。

騰落率（税引前分配金込）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	6.28%	2.97%	8.77%	18.75%	35.96%	-18.13%
参考指数	6.53%	4.34%	9.73%	20.30%	48.04%	9.02%

※参考指数は、2016年11月1日より、MSCI EMヨーロッパ10/40(税引後配当込み 円換算ベース)から、MSCI EMヨーロッパ10/40(除くギリシャ)(税引後配当込み 円換算ベース)に変更しました。

ポートフォリオの状況（マザーファンド）

資産別構成比率

株式	94.9%
現金等	5.1%
-	-

通貨別構成比率

アメリカドル	58.1%
ポーランド・ズロチ	18.0%
トルコ・リラ	8.3%
ハンガリー・フォリント	8.2%
チェコ・コルナ	2.3%
その他	0.0%

国別構成比率

ロシア	55.8%
ポーランド	18.0%
トルコ	8.3%
ハンガリー	8.2%
チェコ	2.3%
その他	2.3%

※その他の国の内訳

キプロス 0.7% 英領ヴァージン諸島 0.7% オランダ 0.5%
バミューダ諸島 0.4% イギリス 0.0%

業種別構成比率

エネルギー	44.1%
金融	24.2%
素材	13.7%
コミュニケーション・サービス	5.1%
生活必需品	2.1%
その他	5.6%

※各構成比率は、マザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。

※実質的に株式に価格が連動する債券も株式に含めて計算しております。

※ロシア株式については、通常、預託証券等で取引されること、アメリカドル建てで証券が決済されること等から、通貨区分が一般的にアメリカドル建てとなっております。

■投資信託説明書（交付目録見書）のご請求・お申込みは



りそな銀行

埼玉りそな銀行

組入れ上位10銘柄 (株式)

組入れ銘柄数(株式)：56銘柄

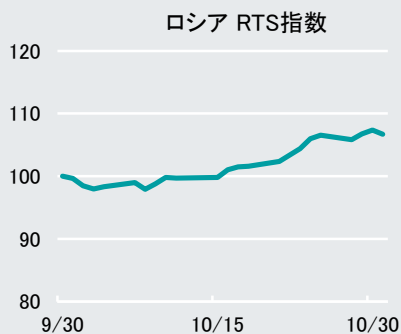
銘柄	国	業種	比率	会社概要
1 ガスプロム(ADR)	ロシア	エネルギー	9.8%	天然ガス会社。ガス・パイプライン・システムの運営、天然ガスの生産および探索、また、ロシア連邦および欧州諸国に高圧ガスの輸送を行う。石油の生産および精製、ガス貯蔵、発電、熱エネルギー事業も手掛ける。
2 ルクオイル(ADR)	ロシア	エネルギー	8.9%	石油会社。主に西シベリアで石油および天然ガスの探鉱、生産、精製、輸送、販売に従事。石油化学製品、燃料、その他の石油製品も製造する。ロシア、米国内で製油所やガソリンスタンドを運営するほか、パイプラインによる石油輸送、船舶による石油製品の輸送も手掛ける。
3 ズベルバンク・オブ・ロシア(ADR)	ロシア	金融	6.2%	銀行。預金・商業銀行業務に従事する。定期預金、法人向け銀行業務、証券仲介業務、信用供与、外国為替サービス、クレジットカードを提供。
4 MMCノリリスクニッケル(ADR)	ロシア	素材	4.8%	金属会社。ニッケル、パラジウム、プラチナ、銅を生産する。コバルト、ロジウム、銀、金、イリジウム、ルテニウム、セレン、テルル、硫黄などの副産物の生産も手掛ける。
5 ノバテク(GDR)	ロシア	エネルギー	4.7%	ロシアの独立系天然ガス会社。天然ガスと液体炭化水素の探査、生産、処理、輸送、販売を手掛ける。
6 タトネフチ(ADR)	ロシア	エネルギー	4.7%	石油会社。原油の探査、生産、精製、販売に従事する。ガソリンスタンドのチェーン経営のほか、旧ソ連の国々や欧州への石油化学製品の輸出も手掛ける。
7 PKNオーレン	ポーランド	エネルギー	3.9%	石油会社。石油製品の精製および販売に従事する。製品には、有鉛ガソリン、軽油、液化石油ガス(LPG)、自動車用不凍液、暖房油、プラスチック、アスファルト、ポリプロピレン・ホイルなどがある。ガソリンスタンドを通じて製品を販売。
8 スルグトネフテガス	ロシア	エネルギー	3.9%	石油会社。主に西シベリアで石油および天然ガスの探査、抽出、輸送、精製、販売に従事する。石油・ガス田の運営、ガスの脱水、液体炭化水素の抽出、プロパンの生産のほか、燃料油、エンジン油、原油ピチューメンの主要グレードの生産も手掛ける。
9 ポシュラクネ・ザクラド・ウベスピクゼン	ポーランド	金融	3.6%	損害保険会社。火災保険や自動車保険など、幅広い種類の損害保険を取り扱う。生命保険部門も保有する。
10 MOL	ハンガリー	エネルギー	3.5%	総合石油・ガス会社。原油、石油製品、ピチューメン、潤滑油、天然ガスを提供する。精製所、石油・ガスのパイプライン、ガソリンスタンド、天然ガス貯蔵施設を所有・経営。

組入れ上位10銘柄 合計
(比率はマザーファンドの純資産総額比)

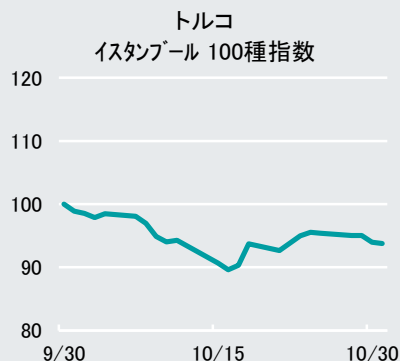
53.9%
※出所：Bloomberg等
※実質的に株式に価格が連動する債券も株式に含めて計算しております。
※ADR、GDR等：銘柄にADR、GDR等の表示がある場合、預託証書(Depository Receipt)であることを示しております。

ご参考 主要投資対象国における当月の市場動向

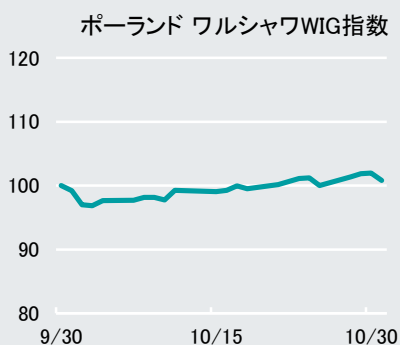
株式市場の動向



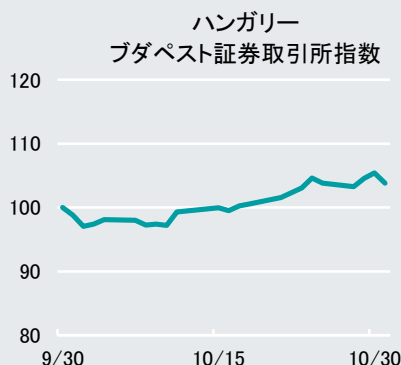
※上記表示通貨はアメリカ・ドル



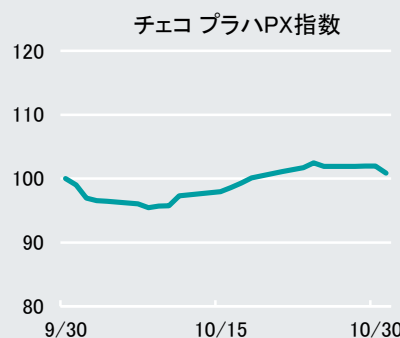
※上記表示通貨はトルコ・リラ



※上記表示通貨はポーランド・ズロチ



※上記表示通貨はハンガリー・フォリント

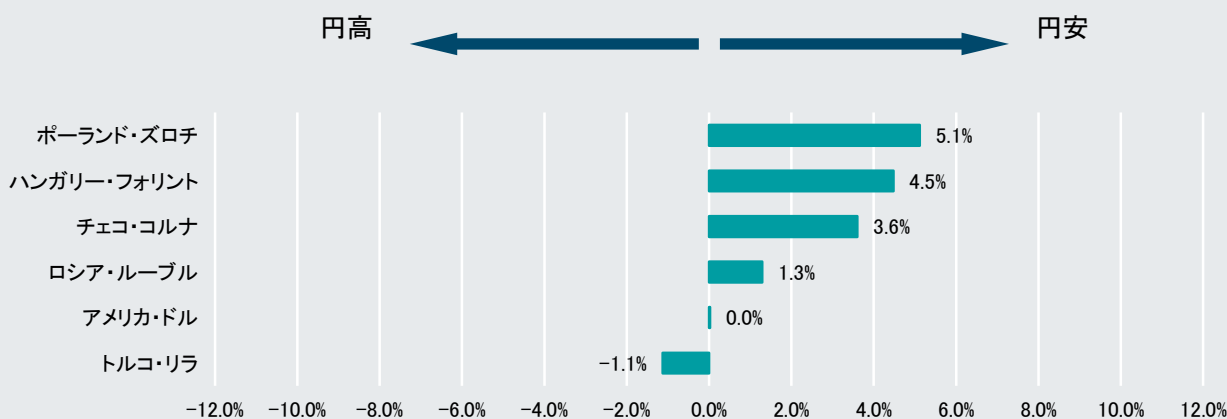


※上記表示通貨はチェコ・コルナ

※出所: Bloomberg

※株式市場は作成基準日の前月末営業日を100として指数化して表示しております。

為替市場の動向



※出所: Bloomberg

※為替はWMロイターレートを使用し、前月末営業日から作成基準日までの騰落率を対円にて表示しております。

ファンド・マネジャーのコメント

<投資環境>

10月のロシア東欧株式市場で株価はまちまちな展開となりました。

ロシアのRTS指数は前月末比+6.67%となりました。米中通商協議の進展期待や英国の合意なき欧州連合(EU)離脱が回避されるとの観測などから、世界的な株高となったことが追い風となったほか、好材料が出た天然ガス大手の株価が大きく上昇し相場全体を押し上げました。トルコのイスタンブール100種指数は前月末比-6.25%となりました。トルコのシリア侵攻を受けて米国が経済制裁を発動するとの懸念が高まった局面(発動後、停戦合意で解除)での下落が目立ちました。

ポーランドのワルシャワWIG指数は前月末比+0.81%となりました。米中通商協議の進展期待や英国の合意なきEU離脱が回避されるとの観測などから、世界的な株高となったことが追い風となるなか、エネルギー関連銘柄の株価上昇などが相場を後押ししました。

チェコのプラハPX指数は前月末比+0.88%となりました。米中通商協議の進展期待や英国の合意なきEU離脱が回避されるとの観測などから、世界的な株高となったことが追い風となるなか、良好な決算を発表したセキュリティソフトウェア株の上昇が目立ちました。

ハンガリーのブダペスト証券取引所指数は前月末比+3.84%となりました。米中通商協議の進展期待や英国の合意なきEU離脱が回避されるとの観測などから、世界的な株高となったことが追い風となり、主力銀行株や医薬品株が相場全体を牽引しました。

<運用状況>

10月はセクター配分ではコミュニケーション・サービスや生活必需品などを買い越した一方、金融やエネルギーなどを売り越しました。個別銘柄では飲料メーカーのアナドル・エフェス・ビラジリク・ベ・モルト・サナイ(トルコ、生活必需品)や商業銀行のバキフラル銀行(トルコ、金融)などを購入した一方、銀行のズベルバンク・オブ・ロシア(ロシア、金融)やVTB銀行(銀行、ロシア)などを売却しました。

10月のファンドのパフォーマンスは+6.28%となり、参考指数を0.25%下回りました。

業種配分では、生活必需品のアンダーウエイトなどがプラスに寄与しました。国別配分では、トルコのアンダーウエイトなどがプラスに寄与しました。また個別銘柄選択では、食品と生活必需品のディスカウント店チェーンを手掛けるBIMビシュレジッキ・マーザラージ(トルコ、生活必需品)や食品小売チェーンのX5リテール・グループ(オランダ、生活必需品)の非保有などがプラスに寄与した一方、靴メーカーのCGC(ポーランド、一般消費財・サービス)のオーバーウエイトや石油会社のルクオイル(ロシア、エネルギー)のオーバーウエイトなどがマイナスに影響しました。

<今後の投資環境と見通し>

米金融当局がハト派的なスタンスに傾いていることが新興国市場全般にとって好材料であるほか、中銀の金融緩和を通じた景気支援や配当利回りの相対的な高さなどがロシア株市場を引き続き後押しするとみています。トルコについては、シリアを巡る地政学リスクが燦る一方で、国内景気に改善の兆しが見え始めており、割安感が高まっている銘柄には買いを入れる方針です。東欧3カ国においては、概ね良好な経済状態が続くなか、個別銘柄の選別を重視しています。

※当ファンドでは、参考指数を2016年11月1日より、MSCI EM ヨーロッパ 10/40(税引後配当込み 円換算ベース)から、MSCI EM ヨーロッパ10/40(除くギリシャ)(税引後配当込み 円換算ベース)に変更しました。変更理由といたしましては、変更前参考指数はギリシャが含まれておりましたが、2016年7月より、MSCI EM ヨーロッパ 10/40からギリシャを除く指数の算出が開始されましたので、ギリシャを投資対象としない当ファンドの運用実績と比較するのに適した参考指数に変更することにいたしました。

※当コメントは、DWSインベストメントGmbHの資料をもとに作成しています。

※将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

ファンドお申込情報

■向こう3ヶ月間のお申込休止日：12月24日(火)、12月25日(水)、12月26日(木)

* お申込休止日は、フランクフルト証券取引所またはフランクフルトの銀行の休業日です。

注)2019年10月9日現在で判明している範囲内で記載したものであり、今後変更になる可能性もあります。

ファンドの特色

- 1 ロシア・トルコ・ポーランド・ハンガリー・チェコ(以下「主要投資対象国」といいます。)のいずれかで上場または取引されている株式を主要投資対象とします。
 - ・ 主要投資対象国に加え、ウクライナ、エストニア、オーストリア、カザフスタン、ジョージア、スロバキア、ブルガリア、ラトビア、リトアニア、ルーマニア(以下「その他投資対象国」といいます。)にも投資する場合があります。また、主要投資対象国及びその他投資対象国以外の国にも、DWSインベストメントGmbHが実質的に主要投資対象国及びその他投資対象国に該当すると判断する場合には、投資することがあります。
 - ・ 投資対象は主要投資対象国及びその他投資対象国のいずれかで上場または取引されている株式及び預託証券*等とします。
(* 預託証券とはある国の企業の株式を海外でも流通させるためにその株式を銀行等に預託しその代替として発行される証券のことを言います。)
- 2 マザーファンドに係る運用指図に関する権限を、DWSインベストメントGmbHに委託します。
 - ・ DWSインベストメントGmbHはドイツ銀行グループの資産運用部門のドイツにおける拠点です。グローバルなネットワークを駆使し、投資家の多様なニーズに応える商品開発と優れた運用実績の実現を目指します。
- 3 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 4 ファミリーファンド方式[※]で運用を行います。
 - ※「ファミリーファンド方式」とは、運用及び管理面の合理化・効率化をはかるため、投資者から集めた資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。

(注)市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。なお、当ファンドは預貯金と異なります。

①株価変動リスク

株価は、政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

②為替変動リスク

外貨建資産の価格は、為替レートの変動の影響を受けます。外貨建資産の価格は、通常、為替レートが円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、為替レートが円高になれば外貨建資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

③カントリーリスク

投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合等には、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国への投資については、一般的に先進諸国への投資に比べカントリーリスクが高くなります。

④信用リスク

株価は、発行者の信用状況等の悪化により下落することがあり、これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の株式は、先進諸国の株式に比べ、相対的に信用リスクが高くなると考えられます。

⑤流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

その他の留意点

ロシア株式への投資にあたっての留意点 (2019年3月末現在)

・ロシア株式への直接投資にあたっては、現地の法制度の制約により、証券の保管が日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(株式会社りそな銀行(受託会社)の再信託受託会社)名義による混蔵保管となります。

・石油等の資源株等については、外国人保有株数制限が課されております。当ファンド単独では上限を超過していない場合でも、制限を受けることがあります。

・分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

N-190422-4

お申込みメモ

- 信託期間 信託設定日(2006年5月19日)から無期限
残存口数が50億口を下回ることとなった場合、受益者のために有利であると委託会社が認める場合またはやむを得ない事情が発生した場合には、信託を終了させていただくことがあります。
- 決算日 原則として毎年2月18日、8月18日(休業日の場合は翌営業日)とします。
- 収益分配 年2回の毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。
ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
(注)将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
- 購入・換金の受付 原則として、販売会社の営業日の午後3時まで購入申込み・換金申込みが行われ、かつ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。ただし、フランクフルト証券取引所の休業日またはフランクフルトの銀行の休業日には、受付は行いません。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 購入単位 1万円以上1円単位
※収益分配金は「再投資」と「定期引出」のご選択が可能です。「定期引出」をご希望されるお客さまは、別途定期引出契約をお申込みください。
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金支払日 原則として換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
- 課税関係 課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。
原則として、分配時の普通分配金並びに換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して課税されます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。
(注)法人の場合は税制が異なります。税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。

ファンドの費用

時期	項目	費用
投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、 3.3%(税抜3.0%)を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額
換金(解約)時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用(信託報酬)	信託財産の純資産総額に年率 2.068%(税抜1.88%) を乗じて得た額
	その他の費用・手数料	当ファンドにおいて、信託事務の処理等に要する諸費用(ファンドの監査に係る監査法人への報酬、法律・税務顧問への報酬、目論見書・運用報告書等の作成・印刷等に係る費用等を含みます。以下同じ。)、組入資産の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、租税等がかかります。これらは原則として信託財産が負担します。ただし、これらの費用のうち信託事務の処理等に要する諸費用の信託財産での負担は、その純資産総額に対して年率 0.10%を上限 とします。 ※「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。

※購入申込総金額とは、お申込金額(購入申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数)にお申込手数料(手数料にかかる消費税等相当額が含まれます。)を加えた額をいいます。

※収益分配金を再投資する際には購入時手数料はかかりません。

※投資者の皆様が負担する費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。

委託会社、その他の関係法人

- 委託会社: ドイツ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
- 受託会社: 株式会社りそな銀行
(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 投資顧問会社: DWSインベストメントGmbH (所在地:ドイツ フランクフルト)
委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用指図等を行います。
- 販売会社: 当ファンドの募集の取扱い等を行います。
※投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。

ホームページアドレス <https://funds.dws.com/jp/>

N-190422-4

<ご留意事項>

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいませうお願い申し上げます。
当資料は、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。
データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

当ファンドの販売会社は以下の通りです。

(五十音順)

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会				備 考
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金)第7号	○		○		
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第593号	○		○		
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金)第3号	○		○		